

2019年 TC 46 / SC 4 総会報告

奥田倫子

日時：2019年5月7日（火） 9:00-11:30

場所：カナダ オタワ カナダ国立図書館文書館（Library and Archives of Canada）

1. Opening of the meeting

2. Roll call of the delegates

参加者の簡単な紹介があった

議長：Juha Hakala（フィンランド）、

Secretary：Kati Heiskanen、Sirpa Sipola、（フィンランド）

SC 4 メンバーとして、AFNOR(France)1名、ANSI/NISO(US) 2名、DS(Denmark) 2名、KATS (Korea) 2名、SA(Australia) 2名、SAC(China) 3名、SCC (Canada) 2名、JISC 3名、BSI (UK) 1名、Hong Kong 1名の参加があった。

3. Adoption of the agenda (N1155)

承認された。

4. Appointment of the drafting committee

米国とフランスにより議事録作成が行われることになった。

5. Approval of the 2018 meeting report (N1112)

今年の議事録を確認した。

6. Action items from the previous meetings

6.1 Seeking Co-Convenor for ISO/TC 37/SC 2/JWG 7 on ISO 639 revision

前任者が共同リーダーを遂行できなくなったため、後任者を探している(昨年からの継続)。

6.2 Standardization of DDI specifications in ISO

DDI側が関心を失ったため、アクションアイテムから取り下げる。

6.3 Co-operation with ISO/TC 154/WG5 to revise ISO 8601

6.4 ISO standardization of OASIS SRU standard

OASIS側が関心を失ったため、アクションアイテムから取り下げる。

7. Report of the Secretariat (N1142 and voting report N1143)

事務局より N1142 と N1143 に基づき報告があった。新たにリトアニアとギリシャが P メンバーに、クロアチアが O メンバーに加わった。

8. Working Group reports and Work Item reporting

8.1 Working Group reports

8.1.1 WG8 Library codes (N1144)

N1144 に基づいて ISO 15511:2011 (ISIL) の改訂について報告があった。表現や参照に関するマイナーな改訂であるため、FDIS 投票から始めたが、ケースセンシティブティ（大文字と小文字の区別）について、規格が明確に記載していなかったために、国により異なる解釈と実装がされていたことが明らかになった。そのため、国際規格としては統一せず、各国の付与機関において定めることとする必要がある。当初ケースセンシティブティの明記という editorial change のため FDIS からの手続きとしていたが、technical な変更になるため、手続きを変更する必要がある。

8.1.2 WG11 RFID in libraries (N1145)

昨年の SC 4 総会でデンマークの Henrik Wendt がコンビーナに任命された。Part2 の改訂が 2018 年に終了、今年は審議案件はなく、またコンビーナが参加できないため、オタワでの会議はキャンセルされたが、WG11 の活動は継続する。

8.1.3 WG14 Interlibrary Loan Transactions (N1146)

N1146 に基づき、Hakala 氏から報告。ISO 18626:2014 の改訂版である ISO 18626:2017 が 2017 年 12 月に出版され、2019 年中に、OCLC の WorldShare ILL と Tipasa で、2020 年に D2D で実装される。また ExLibris の Alma にも実装される予定。

また、2019 年 4 月 15 日を期限として、ISO 18624 の実装状況と今後の改訂への要望を調査するためのサーベイを行なった。実装が進行中のため、WG の活動期限を後 1 年延長したい。

8.1.4 WG16 Dublin Core (N1147)

DCMI Usage Board との緊密な連携のもと、CD 投票の際のコメントへの対応を行った DIS 案を作成し、5 月 15 日までの期限で投票中である。これについては、あと 6 ヶ月の期限内に成立する見込みである。本件については、WG16 から提案はできるが、DCMI UB に最終的な決定権がある。

今後の ISO 15836 の課題として、いくつかのアプリケーションプロファイルの語彙を Part3 として、あるいは Part2 の改訂や参照 TR として取り込むことを検討している。図書館で多く扱われているリソースに関するものとして、SWAP (Scholarly Work Application Profile) と DCAT を候補として、まず DCMI に働きかける。日本からは、DCMI とのコミュニケーションプロセスをオープンにしてほしいと要望した。

8.2 Joint Working Group reports and Work item reports

8.2.1 Activity report of JWG for EPUB (N1152)

N1152 に基づき、韓国の Sam Oh 氏より TC46/SC4, JTC1/SC34, IEC/TC100 の JWG7 の報告があった。JWG7 では現在、EPUB 関連の 4 つの規格を扱っている。それぞれ状況は以下のとおり。

- ・ ISO/IEC PDTS 30135 (2nd edition) の作業を ISO/IEC DIS 23736-1/6 に変更し、DIS 投票が 2 月に終了。現在、コメントディスポジション作業中。これは IDPF の EPUB3.0.1 の仕様を ISO 規格化するものである。韓国で既に国内規格として成立しているため、フ

ラストトラックで手続きを進めている。なお、Hakala 氏に寄れば、3.0.1 は 3.0 とコンパティビリティがないため、欧州では実装が進んでいない。

- ・ ISO/IEC PDTS 22424 Long-term preservation for EPUB についても 2 回目の投票が終了し、コメントディスポジションの作業中である。

- ・ ISO/IEC AWI TS 23078 Specification of DRM technology for e-book content in EPUB format が新規作業項目として承認され、WD を準備中である。TS は 3 つの部分からなり、Part1 で非暗号技術を含む DRM 技術全般について、Part2 で Radium LCP と呼ばれるユーザーキーによる保護について、Part3 でよりセキュアなデバイスキーによる保護について扱う予定。今週の会議で、CD 草案の最終的な詰めを行う。

- ・ ISO/IEC CD 23761 “Digital Publishing -- EPUB Accessibility – Conformance and Discovery Requirements for EPUB Publications”についても新規作業項目として承認され、現在 6 月 1 日 CD 投票開始に向けた準備を進めている。

8.2.2 Revision of ISO 639 (N1148)

ISO 639-1 の RA の Infoterm、ISO 639-2 の RA であり ISO 639-5 の維持も行なっている Library of Congress、ISO639-3 の RA である SIL International の Joint Advisory Committee (RAs-JAC) から提出された N1148 に基づいて、Hakala 氏から、2018 年 3 月から 2019 年 2 月までの活動報告が行われた。

2018 年に ISO 639-3 に 98 言語が追加された。また 2019 年 2 月 2 日現在、さらに 4 言語が追加されている。今後、ISO 639-4 の General principles の部分についても改訂が予定されている。

9. Reappointment of the WG14 Convenor

WG14 のコンビーナである Leif Andresen 氏の任期を 3 年間延長し、2019 年 12 月 31 日から 2022 年 3 月 31 日までとする。

10. Registration Agency and Maintenance Agency Reports

10.1 ISIL Registration Authority (N1149)

N1149 に基づいて報告があった。

11. Liaison Organisation reports

各リエゾンについて、1 年間の活動報告が行われた

11.1 Dublin CoreMetadata Initiative (N1150)

11.2 Infoterm liaison report (N1151)

DistributedOntologyLanguage 1.0 がリリースされた等の報告があった。

11.3 ISO/TC 37/SC2 liaison report 2017 (N1154)

12. National Body reports

特になし

13. Term expiring of Chair JuhaHakala 2020-12-31 and the change of secretariat

議長 Hakala 氏と事務局の任期が 2020 年末に終了。来季の議長候補を探す。

14. Other business

15. Future Meeting Schedule

来年も TC46 会合週間に合わせて開催する。場所は未定。

16. Approval of Resolutions

以下の決議案が承認された。

決議事項 1: 決議事項案作成委員会の指名

Nettie Lagace (US), Todd Carpenter (US) 及び GaëlleBéquet (フランス)を指名。

決議事項 2: WG11 RFID in libraries 及び WG14 Interlibrary Loan Transactions の状況

これらの WG が扱う規格の更新/改訂の必要性に鑑み、WG11 及び WG14 を継続する。

決議事項 3: ダブリンコア語彙の名前空間の拡張及び WG16 と DCMI との連携継続

DC Usage Board に Dublin Core SWAP と W3T DCAT に関して、ダブリンコア語彙の拡張を検討するよう働きかける。その活動のため、ISO15386-2 の発行後も DCUB との連携を継続する。

決議事項 4: WG14 Interlibrary Loan Transactions のコンビーナの再任命

WG14 のコンビーナ Leif Andresen 氏の任期を 2020 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までの 3 年間延長する。

決議事項 5: SC4 議長及び事務局の募集 Resolution 5: Call for new SC4 Chair and secretariat

JuhaHakala 氏の議長の任期が 2020 年 12 月 31 日に満了となるのに伴い、SC 4 メンバー国は議長候補の指名を検討する。

同時に SFS が事務局を辞する意図を持っていることを認識し、SC4 メンバー国は事務局の引き受けを検討する。

決議事項 6 : 謝辞

ホストであるカナダ国立図書館文書館への謝辞